

## 学校教育総合プラン改定に関するパブリックコメントの実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございます。  
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

1. 意見募集の期間 平成27年12月1日(火)～平成28年1月4日(月)

2. 意見の数 161件

3. 意見提出人数 41人

4. 意見内容の概要

区分	件数
字句、表現の指摘	57件
内容についての意見	93件
質問	1件
感想	10件
合計	161件

5. 市の対応区分

記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、案を修正するもの	83件
□	意見の趣旨や考え方が既に案に盛り込まれているもの	2件
■	意見を反映できるかわからないが、検討事項として扱うもの	43件
▲	ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	2件
◆	参考意見として扱うもの	31件
	合計	161件

6. 意見の内容と市の対応

意見概要	整理番号	意見の概要	採否	意見数	採否の理由	
字句・表現に関するもの(57件)	1	字句の間違いについての指摘	○	33件	ご指摘の通りですので、修正させていただきます。	
	2	表現の間違いの指摘	○	22件		
	3	表現の仕方に関するご意見	○	1件		
	4	表現の仕方に関するご意見	■	1件		
内容に関するもの(93件)	5	p1「道子市総合計画との整合性」について	■	1件	ご指摘について理解はできますが、懇話会の中で検討させていただきます。	
	6	p2「生涯学習あるいは社会教育の扱い」について	■	1件		
	7	p2「改定の期間についての確認」について	○	1件	ご指摘の通り記載します。	
	8	p3「学習規律の確立は授業づくりの行動プランではなく、集団づくりの行動プランに入れるべきもの」について	▲	1件	授業内容を深めていくことは確かに大切ですが、それを受け入れる集団の姿勢や態度・雰囲気なども大切な事と考えています。発達段階に応じた学習規律もあると思われませんが、学び方の継続性の観点からも、第1稿のプランの中では、授業づくりの柱の中に学習規律を位置付けました。	
	9	p5「教育三法の公布と学習指導要領全面実施との関係性における誤解および学力の重要な要素の表現の差による誤解の恐れ」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。	
	10	p6「確かな学力を育むために多様な学習形態を活用するという表現について、正規職員の増員が前提となると考える。現場の意見を聞いてほしい」について	◆	2件	ご存じのように、教員の定数は学級数によって決められています。市費単独で教員や他の職員を雇用しており、他の市町と比較しても余らない状況です。これ以上の増員は難しい状況であることをご理解ください。	
	11	p6「多様な学習形態に関する用語解説についておよび追加の必要性」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。	
	12	p6「学習支援ボランティアの募集に関する意見および長期休業期間の活用に関する意見」について	■	1件		
	13	p6「学力の向上について取り組みの成果を測る物差しが必要ではないか」について	■	1件		
	14	p6「中学校における観点別評価・評定への総括の仕方が分かりづらい」について	■	1件		
		15	p7「授業力という言葉に関して、指導力ではないかという意見」について	▲	1件	「授業力」は、一般的に学校教育の中で通用する言葉であると考えています。「指導力」の方がカバーする範囲が広くなりますので、「授業づくり」の柱の中では、「授業力」を選びます。
		16	p8「学習規律の確立に関し、共通認識を持ちたいという表現がよいのではないか」について	○	1件	ご指摘の通り修正させていただきます。

内容に関するもの(93件)	17	p8「学習規律の確立に関し、児童・生徒や保護者からの意見聴取や家庭の協力についても触れることが望ましい」について	■	1件	
	18	p8「学習規律の確立に関し、学習規律は教室に掲示して…は、全ての教室に学習規律が掲示されていないとNGという強制的な印象となります。『教室に掲示して』は削除したほうがよい」について	■	1件	
	19	p8「学習規律の確立に関し、学習規律について全教職員で決め、学校全体で統一した指導を繰り返すという部分は、学習規律については発達段階や、児童の実態に合わせて学年や学級で決めていくことが望ましいのではないか」について	■	1件	
	20	p8「学習規律の確立に関し、学習規律について全教職員で決め、学校全体で統一した指導を繰り返すの部分は、学習規律については発達段階や、児童の実態に合わせて学年や学級で柔軟性を持って指導していくことが望ましいのではないか」について	■	1件	
	21	p8「学習規律の確立に関し、学習の準備やあいさつ、姿勢、他人の話し方の聞き方、発表の仕方、話し合いの仕方などの指導事項は、児童一人ひとりの状態に合わせて最善の方法を選択すべきであり、学校で統一するものではない。また、自分で学び、聞き、見て、自分のスタイルを確立するべきものであり、学校全体で統一せず教員個人々々の創意工夫を促すべきである。」について	■	1件	
	22	p8「学習規律の確立に関し、全体的に、学習規律を確立することの大切さを説こうと力みすぎて混乱したり、端的に表現しようとしたことが結果として誤解を招く表現になっている」について	■	1件	
	23	p8「学習規律の確立に関し、学習規律を確立させる必要があるということには異論はありません。しかし、各学校の実態に合わせて、多様な取り組み方を認めていることが感じられる表現にしてほしい」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	24	p8「学習規律の確立に関し、生活習慣や学習習慣は学校だけが責任を問われるものではない。近年の現場における課題を抱えた児童は、家庭でも付けておくべきものが揃っていない児童が多い。これらの児童に対し、学校がいくら熱心に支援や指導をしても、効果が得られないことが多い。家庭との連携が重要なことはもちろんだが、親としてしつづけるべき点、親が責任を持って見てあげべき点などを、教育委員会として踏み込んで示せないものか」について	■	1件	
	25	p8「学習規律の確立に関し、全校で統一する必要のあるものと、学年や学級の実態に合わせて設定していくものがあると感じます。具体的行動指針の中に、このような明記の仕方があり、『全て統一した指導』と捉えられ、教員の指導の柔軟性や主体性が失われると懸念します」について	■	1件	
	26	p8「学習規律の確立に関し、学習時におけるルールは必要だが、各学校、どの学年でも同じスタイルで行うのはどうか」について	■	1件	
	27	p8「学習規律の確立に関し、学習規律や業務の標準化について。経験の浅い教員に対して、“こうやるよ”など、あくまでも一つのやり方としてポイントを示すものはあってよいと思うが、“こうでなければならぬ”はあわない。学年や児童の様子を見ながら、児童の実態に合わせて工夫するのがよいのではないか」について	■	1件	
	28	p8「学習規律の確立に関し、授業のユニバーサルデザイン化に変える方がよい」について	■	1件	
	29	p6~p17「授業づくりの中心の行動プランに授業のユニバーサルデザイン化を入れて欲しい」について	■	1件	
	30	p9「多様な教育活動の充実に関し、読書活動の推進は、それだけではなく、図書館利用の推進も併記すべき」について	◆	1件	参考させていただきます。
	31	p10「防災減災教育の推進」に関し、小学校高学年から中学校につながる年間計画が必要」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	32	p10「防災減災教育の推進」に関し、中学校入学の際に取り組みをまとめて校長先生から話していただく安心できる」について	◆	1件	参考させていただきます。
	33	p10「視聴覚ライブラリーで所有する教材を調査したり、道教研の関係研部(視聴覚部:現在していれば)などに利用方法の検討を依頼するなど、工夫が望めます。」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	34	p10「中学校では避難所運営訓練等へのボランティア参加を促したりするとありますが、もう少し強く積極的に参加してほしい。」について	○	1件	積極的な表現といたします。
	35	p12「ネットリテラシーはメディアリテラシーという方がよい。また、巻末に用語解説が必要」について	○	3件	ご指摘の通り修正いたします。
	36	p12「コミュニケーションの表現や手段のひとつとして、主な情報機器として考えられるパソコンを有意義に活用できるようになるためにローマ字をもっと繰り返しパソコンの操作と共に学習していければいい」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	37	p13「心プロジェクトは巻末に用語解説が必要」について	○	1件	ご指摘の通り掲載します。
	38	p14「環境教育に関し、新しい用語で多様な理解があるため解説が必要ではないか」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	39	p15「キャリア教育は学校教育終了で完結するのではなく、生涯学習の立場からすれば一言加えてほしい」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	40	p15「小学校高学年ではなく、小学校・高学年という表現が適切ではないか」について	○	1件	ご指摘の通り修正します。
	41	p17「今期新たに加入する行動プランのための市民教育がどういふ者なのかもう少し詳しく記載した方がよい」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	42	p17「ポリテクカルリテラシーに関し、用語解説が必要」について	○	3件	用語をわかりやすい言葉に修正します。
	43	p17「ポリテクカルリテラシーに関し、社会的・倫理的責任の育成が明文化されていません。追加した方がよいのでは」について	■	1件	
	44	p18「日本は、2014年1月に国連の障害者権利条約に批准したことを追加した方がよい」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	45	p18「インクルーシブ(inclusive)教育とカタカナ語を用い、強調しなげなければならない事情がよくわかりません。的確な訳語が欲しい」について	■	1件	
	46	p19「取り組み例に急下校時に出会う近所の方々には積極的に挨拶する習慣を育てるを入れるべき」について	○	1件	ご指摘に関し、掲載します。
	47	p19「自尊感情を高めるよりも自己有用感という表現が適切ではないか」について	○	1件	ご指摘の通り修正します。
48	p19「人間の態度や行動という表現は、人間の行動や思考という表現が適切ではないか」について	○	1件	ご指摘の通り修正します。	
49	p19「十分な休養・睡眠という表現は、良質な休養・睡眠という表現が適切ではないか」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。	
50	p19「関心に向けた取り組みという表現は、焦点を当てた取り組みという表現が適切ではないか」について	○	1件	ご指摘の通り修正します。	
51	p19「記載の順序」について	○	1件	検討し、よりよい順序へと修正します。	
52	p20「ソーシャルスキルトレーニングや構造的グループエンカウンターでの人間関係づくりや集団づくり」について	○	2件	偏った表現を修正します。	
53	p20「ソーシャルスキルトレーニングなど、用語解説が必要」について	○	1件	掲載します。	
54	p22「集団宿泊活動は近江市として、小学校中・高学年から中学校3年までの宿泊を伴う体験活動をどのような内容で、どのような期間、長期休業中の実施も考慮して、いつ行うのか、示す必要がある」について	◆	1件	基本的には各学校の教育課程の編成に関わることであり、教育委員会が内容や期間を決めるのではなく、教育効果を考え各学校で決めるものと考えています。長期休業中の実施も可能なように、管理運営規則もすでに改定しています。	
55	p24「上の枠-第3段落「……、適切なアセスメントのもとに、校内支援委員会が検討した支援を具現化する必要があります。……」について、①「適切なアセスメントとは、何をするか判断しない、対象と範囲を明確にするか、この部分を削除する方が判り易い②「校内支援委員会が検討した支援方針を具現化する必要があります。」「③資料を加えることが望ましい。具体的行動指針及び取り組み例:第1の○ この「アセスメントのもとに……」の部分を削除しても意味は判る。第5の○「……、教師は授業についての自己チェックリストを活用し……」【教師】の挿入が望ましい。また、「ユニバーサルデザイン化」と化を加えていますが、こうした日本語の使い方に抵抗を感じる人が現れると厄介。教育行政では国語の使用は保守的である方が、無用の混乱を防止することにつながると思います。なお、「ユニバーサルデザイン」の社会的認知度は高いとは思いません。用語解説が望ましいのですが、【化】があるため、提案は躊躇します。	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。	
56	p24「学校教育総合プランの中には特別支援教育及び特別支援学級について、一切触れられていない。加えて欲しい。」について	○	2件	適切な形で掲載します。	
57	p24「支援教室を活用し、ニーズのある児童・生徒が必要な時間に適切な支援を受けられるようにする」とあるが、対応する時間も不足なのが現状である。今は、このように言い切れる状況ではない。」について	◆	1件	参考させていただきます。	
58	p24「○遠級指導教室・教育研究所・児童相談所・子育て支援課・特別支援学校(養護学校)の地域支援担当等の専門機関との連携を積極的に進めるの後に、また、ニーズをもった児童・生徒に応じた専門機関の要入力を対象を明確にし、連携をスムーズにする」とを目標とする追加すると良い」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。	
59	p24「不登校を生まない取り組みは表現の工夫が必要」について	○	1件	適切な表現に修正します。	
60	p25「中学校では避難所運営訓練等へのボランティア参加を促したりするとありますが、もう少し強く積極的に参加してほしい」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。	
61	p26「標準化された授業という言葉は教育界において広く認知されている言葉ではなく、明確な定義付けもなく使用されることに懸念を感じる。教員の「教授の自由」を侵害するものにならないことを切望する」について	◆	1件	「教授の自由」を侵害する意図はありません。標準化された授業の定義が不明確なのは確かです。授業の内容そのものを統一するのは、配慮が必要な児童・生徒だけでなく、すべての子どもたちにとってわかりやすい授業をするために、環境調整(例えば、教室の前面に掲示物を貼付し…)などをして、チェックリストを活用し自分の授業を振り返るなどをしていきます。このような観点でどの学校でもよくないと考えられるものについて標準化していくことを意味しているものです。	

内容に関するもの(93件)	62	p27「学習規律や業務の標準化について、経験の浅い教員に対して、“こうやるよ”など、あくまでも一つのやり方としてポイントを示すものはあってよいと思うが、“こうでなければならない”はおかしい。学年や児童の様子を見ながら、児童の実態に合わせて工夫するのがよいのではないか。」について	□	1件	ご指摘の主旨はプランに盛り込まれております。
	63	p27「近年、学年の途中で辞められる先生も見かけられます。ただでさえ、日々大変なお仕事をされている先生方のストレスを軽減するために、業務標準化というのは極めてほしいです。」について	□	1件	
	64	p27「学校業務の標準化の作業は大変な作業量が必要であり、定期的な見直し・訂正が求められると思います。このための恒常的な作業チームの設置が必要だと思います。」について	○	1件	昨年度より教育に関する業務の標準化検討会議を立ち上げ、検討しています。
	65	p28「体罰は禁止(違法行為)とされていますが、悪化は許されています。この辺の事情は用語解説で説明することが望ましい。」について	○	1件	ご指摘の通り掲載します。
	66	p29「ネットリテラシーはメディアリテラシーの方が適切ではないか。」について	○	1件	表現を修正します。
	67	p29「電子黒板は実際には学校ではほとんど使用されていないので、電子黒板を「デジタルカメラ」の後に挙げてきた方がよいのではないか。」について	■	1件	
	68	p30「交流を推進する」の後に、「アプローチャ・スタートプログラムを作成し活用することでスムーズな小学校教員を促す」を加筆する。」について	■	1件	
	69	p31「学校支援本部の事業は、学校からのお問い合わせをいただく、というのが現状になっている。地域の活動に参加することで学校教育のねらいを達成できるものがないか、校外学習を見直して見る必要がある。また、地域と学校をつなぐ「コーディネーター」の存在を活用していく。」について	■	1件	
	70	p32「参考」には、共に学び、共に育つ、共生(きよいき)のまち推進プラン・生涯学習活動推進プラン・文化振興基本計画・社会教育推進プランも記載することがよい。」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	71	p34、p35「学校施設の部分では、段差解消などのユニバーサル化についても ふれてほしい。」について	■	1件	
	72	p34、p35「学校給食の部分では、小学校給食における安全性向上のための取り組みについて何か付け加えた方がよい。」について	■	1件	
	73	p34、p35「教育研究所の部分では、適応指導教室についてもふれた方がよい。」について	■	1件	
	74	p34、p36「教育研究所の部分では、巡回チームについて現場の想いや意見がどのように反映されているのかが不明。」について	◆	1件	参考にさせていただきます。
	75	p36～p41「表1～表3の作成には相当な時間と労力が必要だと思います。管理職の先生方には負担がかかっていると思います。適切な手引き(マニュアル)が必要。」について	■	1件	懇話会の中で検討させていただきます。
	76	全体に関して、「様々な理想が書かれているが、それに取り組むにあたって、教職員の増員や時間的な余裕をどのように生み出すのかなどの、具体的な方策やサポートについては、何も書かれていない。現在の多忙を極める現場で、理想ばかり先行すれば更なる多忙化と混乱を生み、教職員の負担が増大していく。その結果、教職員の健康や子どもたちへの不利益が生じることを危惧する。」について	◆	1件	
	77	全体に関して、「現在の現場は、経験年数が少ない教員が増え、ベテランと呼ばれる経験のある教員が次々と退職していかで、ベテランがない学年が頻数ある状況である。そのため、教育指導員の存在は不可欠であり、その上で、市費の非常勤を増員してほしい。その増員分で、各学年で算定少数人数を要するようになり、ニーズのある子どもにも個別支援を専門におこなえるようになりたりするなど、具体的な方策を示してほしい。また、他職種などの状況をふまえると、標準化や統一化、校務支援システムの導入が業務の改善につながることは考えにくい。」について	◆	1件	
	78	全体に関して、「表記の仕方に疑問を感じる。それぞれの項目に対して、具体的な行動指針及び取り組み例とある。例ならば参考程度と考えることもできるが、具体的な指針ならば、取り組むべきという拘束力も出てくる。ここに書かれていることは、現場の実態にそぐわない内容も多いため、あくまでも、例」でよいのではないか。」について	◆	1件	
	79	全体に関して、「このプランの中には保護者への具体的な求めは無く、全て学校が取り組むべきという印象を持つ。親も変えていく。親と一緒にやっていくというプランにはできないものか。また、理不尽な親の要求から、教員を守る手立ても必要ではないか。」について	◆	1件	
	80	全体に関して、「新しい取り組みをすると業務が増える傾向にありますので、業務を精選しながら進めていって欲しい。」について	◆	1件	
	81	全体に関して、「この改定案について、筆者は逗子市立学校に在学したことがないから、はたらかず感じたことを述べると、いわゆる甘さがある。端的には、この改定案をパブリックコメントに供するに、誰が、いつ、どこで、なぜ、どのように、どうしたいかわかるSWIWI、ということがあまり明確に書かれていない。初めのほうの背景と趣旨をもっと明確にするべき。」について	◆	1件	
	82	全体に関して、「戦後政治でいわゆる「逆コース」が指摘され続けたのに、未だにこれが改められていない。このような戦前戦中の逆戻りがはびこる中で、教育基本法が改定された。このような逆コースはいい加減にやめさせるべきであり、教育現場でも留意を要する。これを書き足すに、史実を正確に把握させることが教育に求められる、とするだけでもよい。」について	◆	1件	参考にさせていただきます。
	83	全体に関して、「目次には、「授業づくり」のほかに、「集団づくり」、「学校組織づくり」、「地域で行う教育活動」が挙げられている。本市は首都圏に位置し、自然にも恵まれているので、教育環境には恵まれているはずだろう。ただし、高校進学率などの数値などは支障があまりないから検討する。しかし、それ以外にも本市の小中学生への教育が不十分という指摘はある。端的には今年度市民交流センターで予約不要1階座席が中学生らしい者の学習にかなり占拠されている。彼らは学校と図書館など、より適切な場所を得られていないのであり、このような対策を要する。」について	◆	1件	
	84	全体に関して、「改定案作成には大勢の協力があつたことは認めるとしても、「協働」という用語は 望ましくない。この用語は、いわゆる「まちづくり」の流行とともに登場したように記憶するが、市長が「た(無償)で助け」という趣旨がある。協が、共同で、明確に定着できる関係に築いていくべき。」について	◆	1件	
	85	全体に関して、「教育で何が大切か、まず真実は欠かさない。うそのようなあいまいはしない。次に善は何かという点でも疑問がある。市がアルファベットのゼンを使っているのも、これが善なのかと感じる。当否を適切に教えるのに道徳教育をもちだした政治に危険がある。あたかも従わせればよい、と言わんばかりである。端的には古来の哲学者の著作に学ばせることもよいだろう。その際に余計な解説は無用である。マルクスからいけばないというのはいない。差別はいない。なお、真実をいわれることから業にも留意すべきだが、これはたぶん主観によるものであり、そのことに気づかせることも必要である。このような感受性を養う機会も大切である。」について	◆	1件	
	86	全体に関して、「改定案の終りのほうに表1・表2・表3というような詳細関連部分がある。これには賛同できない。実質だけでなく、形式的問題もある。どのようなものかいい加減に作られると、現場で感傷する。対策づくりが考えられないではないが、少なくとも対策ができるまでは参考にとどめることが望まれる。」について	◆	1件	
87	全体に関して、「本市の児童生徒のために、少なくとも通学路に防犯カメラを設置してほしい。大阪府高槻市に例がある。本市でもかなり犯罪が多発しており、防犯は喫緊の課題である。」について	◆	1件		
88	全体に関して、「地域」が協力するとしても、市民の協議会が成立しても、市民が行政の下請けにならないよう、お互いに注意するべきである。」について	◆	1件		
89	全体に関して、「これまでの「学校教育総合プラン」でも使われていたが、「具体的行動指針」と「取り組み例」及び「併記されるものではない。」について	◆	1件		
90	全体に関して、「このプランにおける「障害」と「障がい」の使い分けについて、説明文(注釈)をもうけておいた方が誤解を招かないと思う。」について	○	1件	用語解説にて解説します。	
質問・感想等(11件)	91	図のズレについて	○	1件	ズレを修正しました。
	92	長くまとまっていると思います。特段の問題はないと思います。	◆	3件	
	93	取り組みやすいと思います。	◆	1件	
	94	現在取り組まれているものと、不十分なものとがあると感じました。	◆	1件	
	95	中心がぶれないようにしていただくと良いと感じました。	◆	1件	
	96	国際理解教育から国際教育に変更された事情を知りたい	◆	1件	ご感想ありがとうございます。より良い形を検討し作成してきたいと思います。
	97	学校教育の現状や課題点を要領よくまとめてあると思いました。なお、「学ぶこと」と「社会のつながりをより意識した教育」のつながりが明確で判然としません。「学び方を学ぶ」とすれば、生涯学習との関連も明確となり、明快になると思いました。	■	1件	
	98	教育公務員の職務であり権利でもある研修は重要であり、OJT、OFF-JTに加え、日常業務中の先輩教師からの助言などの非公式な研修の機会に対しても、積極的な態度が望まれる。	◆	1件	
	99	学校の教育活動では、教科や特別活動など集団づくりにつながるものが様々なはずですが、そのことに触れられていないことは残念。	◆	1件	
合計				161件	